

# アパレルの輸出入代行ならお任せ！ 高い営業力と人脈で活躍の場を広げる

## 株式会社 セブンプラス

大阪府大阪市東成区深江南 2-5-13

URL : <https://sevenplus.co.jp>

大阪府に本社を構える『セブンプラス』はノベルティグッズや服飾雑貨など中国との輸出入代行業務、OEM 生産を手掛ける企業だ。信頼できるスタッフたちと共に同社を立ち上げた尾上社長は長年営業畑を歩んできた人物。本日はそんな社長のもとを俳優の大沢樹生氏が訪問。これまでの歩みを交えたお話を伺った。

——まずは尾上社長の歩みから。

大阪府出身です。幼いころからサッカーをしており、子どものころはJリーガーにあこがれていました。学業修了後は飲食店での勤務を経て、20代半ばで営業の仕事に携わり始め、そこからルート営業、テレアポ営業、そして今につながるアパレルの営業など営業マン人生を歩んできました。

——様々なフィールドで経験を蓄積されたのですね。

最後に勤めたアパレルの会社『セブン』はボタンやベルト、カバンなど服飾雑貨を扱っていましたが、そちらでは7年お世話になりましたが、いまから3～4年ほど前にスーツの裏地やフリンジ等を扱う『岡橋』という卸会社と合併しましてね。当時一緒に働いていたメンバーで独立し、再スタートを切ったのが『セブン

ラス』です。

——そうでしたか。その際に社長が代表に就かれたのですね。

ええ。私自身、自分の会社を持つというのは一つの夢でもありましたので、皆で代表を誰かやらないかとなった時に手を挙げたんです。メンバーの中でも私は若いほうで、手を挙げたものかなりの不安はありましたが、前職とも良いお付き合いを続けることができています。現在は中国との、ノベルティなどのアパレル製品の輸出入代行業務やOEM生産をメインに手掛けています。中国のほうの営業はスタッフの一人に任せています。国内企業さんへの営業は私が担当していますから、そこも責任重大と感じていますよ。

——これまで関わった方々の、いろいろな思いを汲んで今があるんですね。

ここまで順調に推移してきたのは信頼できるスタッフがいたから。そして、前職のつながりでお客様がある程度ついてる状態で再出発できたことも大きいですね。感謝しかありませんし、そのご恩に報いるためにも、まだまだ当社を成長させていきたいと考えています。

——まさに「企業は人なり」ですね。最後に、これからのビジョンをぜひお聞かせください。

これからの時代はサブスクリプションがさらに普遍化し、あまりものを所有しないスタイルが主流になっていくと思っ



代表取締役

尾上 哲也

ています。その例に漏れず、アパレル業界も変化していかざるを得ないでしょう。そこを踏まえて、当社の強みを作っていくことが肝要です。SDGsに貢献できるものであったり、価格だけでなく品質にこだわったり——ユーザーのニーズをチェックしながら、試行錯誤しているところです。BtoBだけでなく、BtoCの形で製品を提供できるように少しずつ移行していきたいとも考えています。まだまだ成長過程ですから、時流をしっかりつかみ取り、邁進を続けるだけです。

(2022年4月取材)



前職とも良い関係を築き、事業に邁進しておられる『セブンプラス』さん。「従業員のためにも、変化を柔軟に受け入れ成長し続けたい」との尾上社長の言葉に「人」への深い思いを感じましたよ！

